平成 21 年度

事故事例データベース検索システム
取扱説明書

平成 22 年 3 月

目次

1. ご利用規約

事故事例データベース及びその検索用マクロについて

（ア）制限事項

・平成 21 年度高圧ガス事故事例データベース(以下、「データベース」という。)は、平成 21 年度　経済産業省委託事業として、高圧ガス保安協会が製作したものです。データベースの著作権は、経済産業省に帰属します。従って、データベースは、著作権法上認められた範囲内で使用することは可能ですが、営利目的等による商用利用を行う際には、経済産業省の承諾を得る必要があります。

・有償、無償を問わず、データベースの全部又は一部を第三者に譲渡、貸与、配付することはできません。

・ホームページ、掲示板などでデータベースを公開し、第三者が閲覧、ダウンロード可能な状態とすることはできません。

（イ）免責事項

・データベースを使用した結果に関して、経済産業省は、直接又は間接を問わず一切の責任を負わないものとします。

（ウ）バージョンアップ

・データベースは、事前の予告無しに、バージョンアップすることがあります。

（エ）お問い合わせ

・データベースに関するお問い合わせは、データベースの掲載内容に限定させて頂きます。従って、Microsoft Windows、Microsoft Excel 操作方法などは、取り扱い説明書をご確認下さい。これらの基本ソフトウェアの操作方法でご不明な点は、Microsoft 社又はパソコンメーカーへお問合せ下さい。

2. 動作環境

本システムは以下の環境下で動作することを前提としており、これ以外での環境ではご使用にならないでください。

（ア）ソフトウェア要件

- OS・・・・・・Microsoft Windows XP、・Microsoft Windows Vista
- Excel ・・・・Microsoft Excel 2003、Microsoft Excel 2007
- その他・・・HELP ファイル（PDF ファイル）を表示するために Adobe Acrobat Reader が必要です。
  インストールされていない場合は、下記のサイトよりダウンロードしてお使いください。
  http://www.adobe.com/jp/downloads/

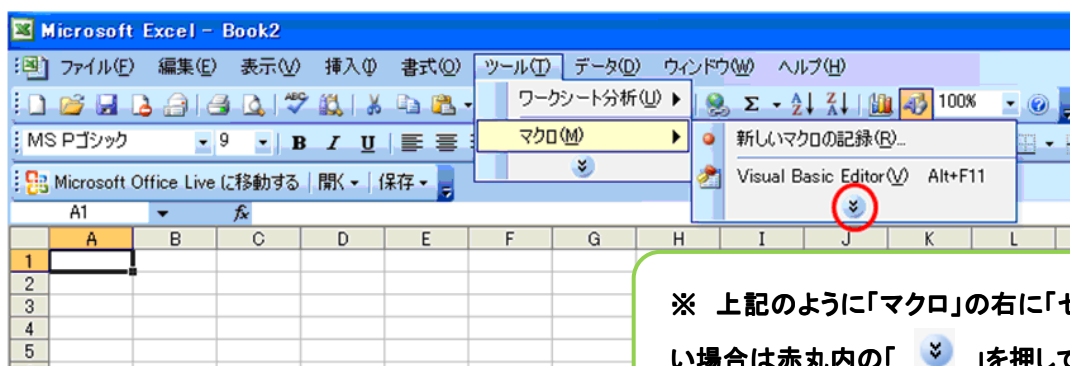
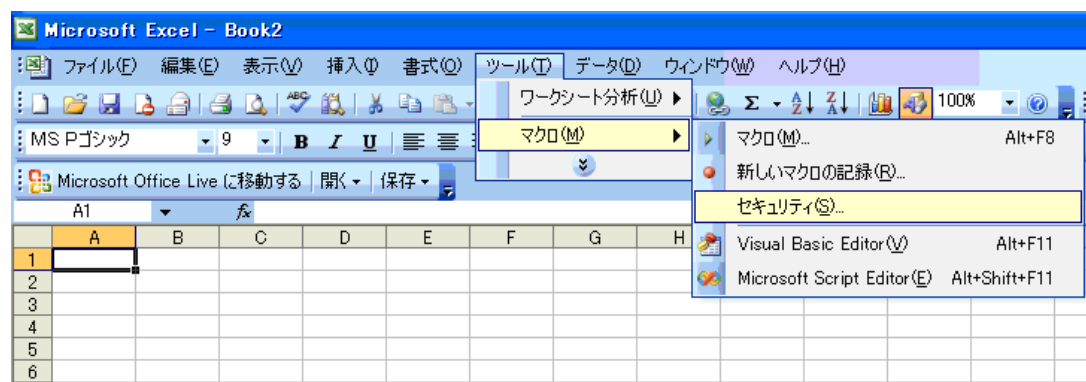
（イ）ハードウェア要件

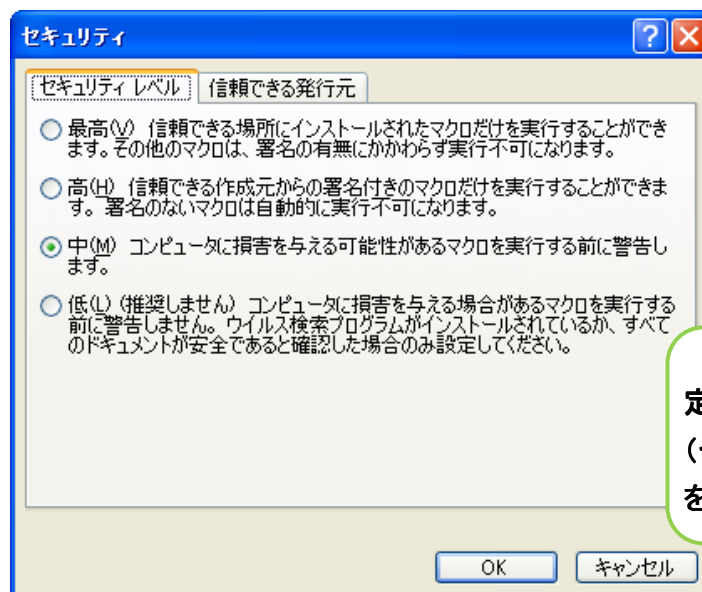
- メモリ・・・・・・・・・・・128MB 以上（256MB 以上推奨）
- 画面解像度・・・・・1024×768 以上
- ハードディスク・・・本システムは CD ドライブ上で動作しますので検索結果を保存する場合以外、ハードディスクは使用しません。

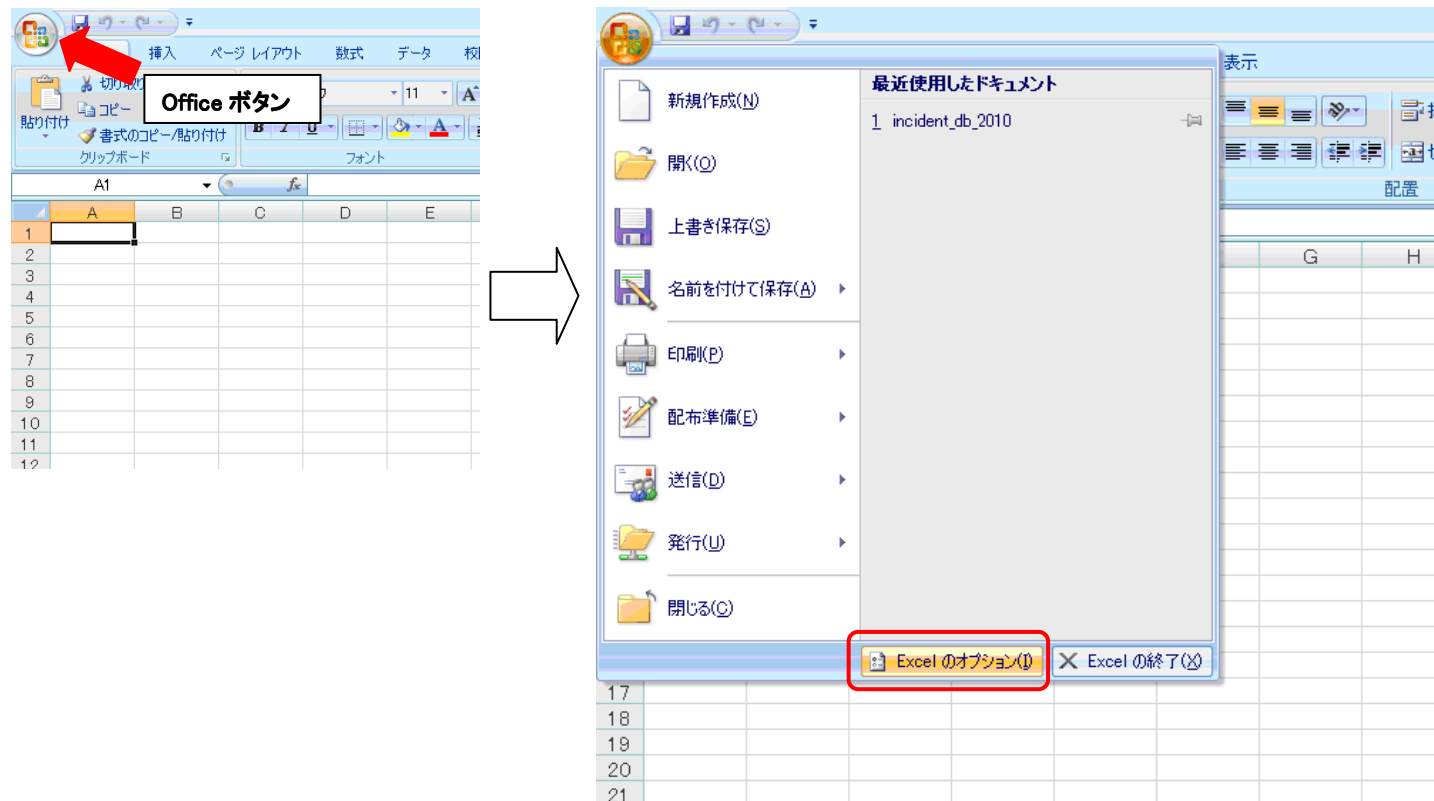
（ウ）Excel の設定

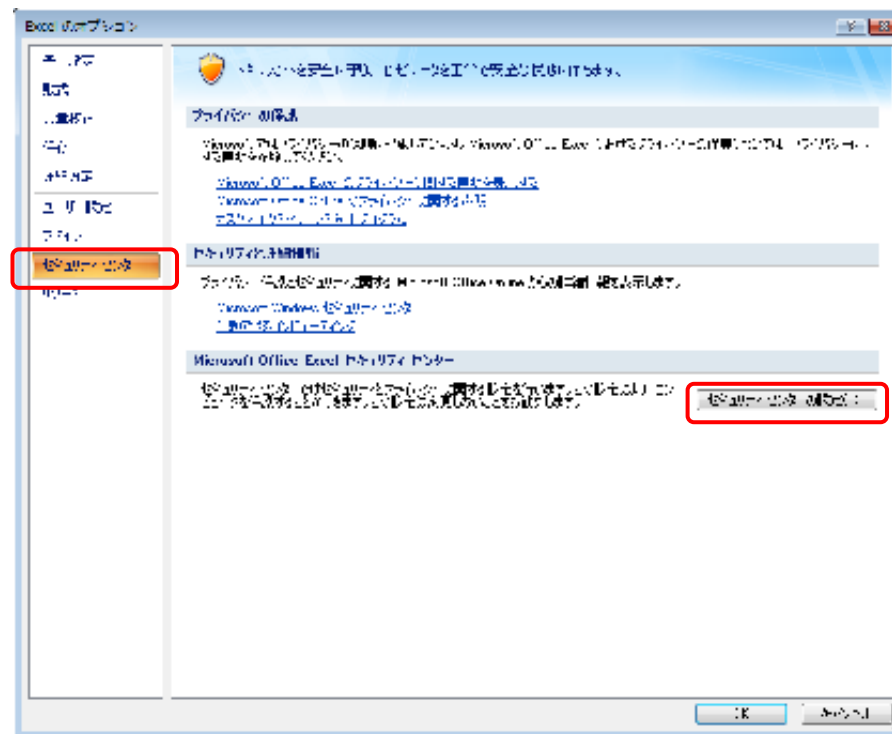
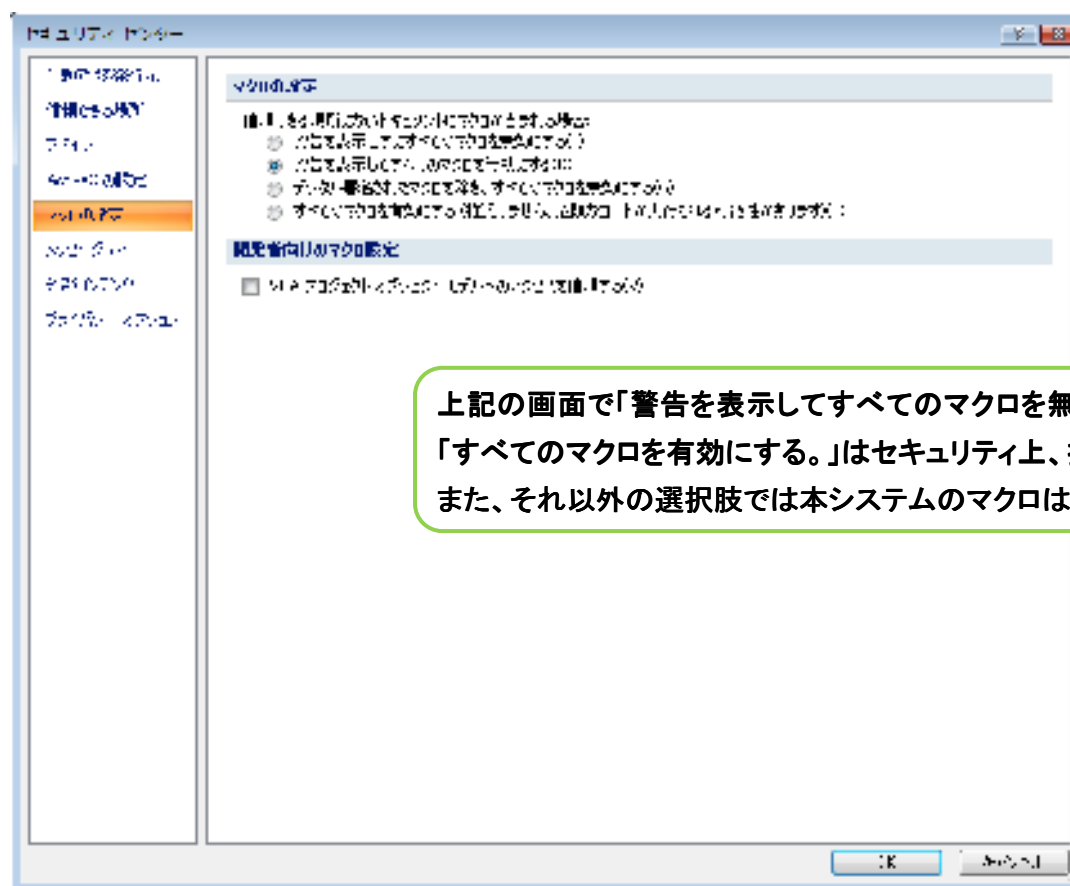
本システムを動作させるためには Microsoft Excel 2003 を下記のように設定しておく必要があります。

マクロセキュリティの設定（Microsoft Excel 2003 の場合）

1. Microsoft Excel 2003 を起動します。
2. Excel のメニューから「ツール(T)」ー「マクロ」ー「セキュリティ(S)...」を選択します。

※　上記のように「マクロ」の右に「セキュリティ(S)...」が表示されない場合は赤丸内の「　」を押してください。

3.「セキュリティ」ウィンドウが表示されます。
　キュリティレベルの設定を行います。

マクロセキュリティの設定（Microsoft Excel 2007 の場合）

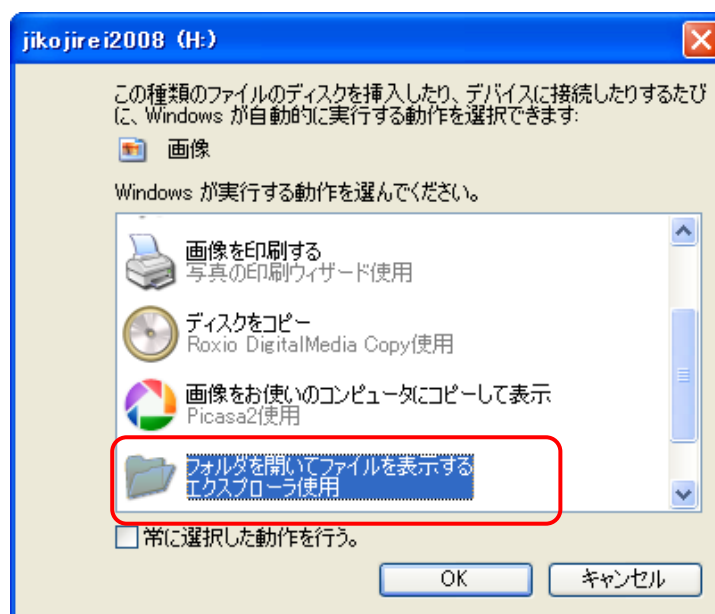
1. Microsoft Excel 2007 を起動します。
2. 「Office ボタン」をクリックし「Excel のオプション」を選択します。

3.「Excel のオプション」ウィンドウが表示されます。

画面左の「セキュリティセンター」をクリックすると、画面右側が下記のように表示されますので、下部の「セキュリティセンターの設定(T)….」をクリックください。

4.「セキュリティ　センター」ウィンドウが表示されます。
画面左の「マクロの設定」ボタンをクリックすると、画面右側が下記のように表示されますので、マクロの設定を行ってください。

3. システムの起動

（ア）CD の準備

高圧ガス保安法事故事例データベース検索システム CD を CD ドライブにセットします。

（イ）ファイル一覧の表示

Windows が CD を認識すると下記のウィンドウが表示されます。

左記のウィンドウが表示されたら赤枠の「フォルダを開いてファイルを表示する　エクスプローラ使用」を選択します。Windows の設定によってはこの画面が表示されずに次ページのウィンドウが表示されます。

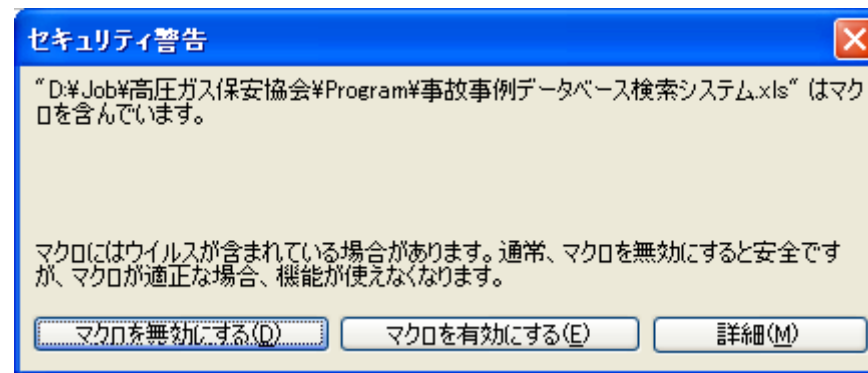
（ウ）システムの起動

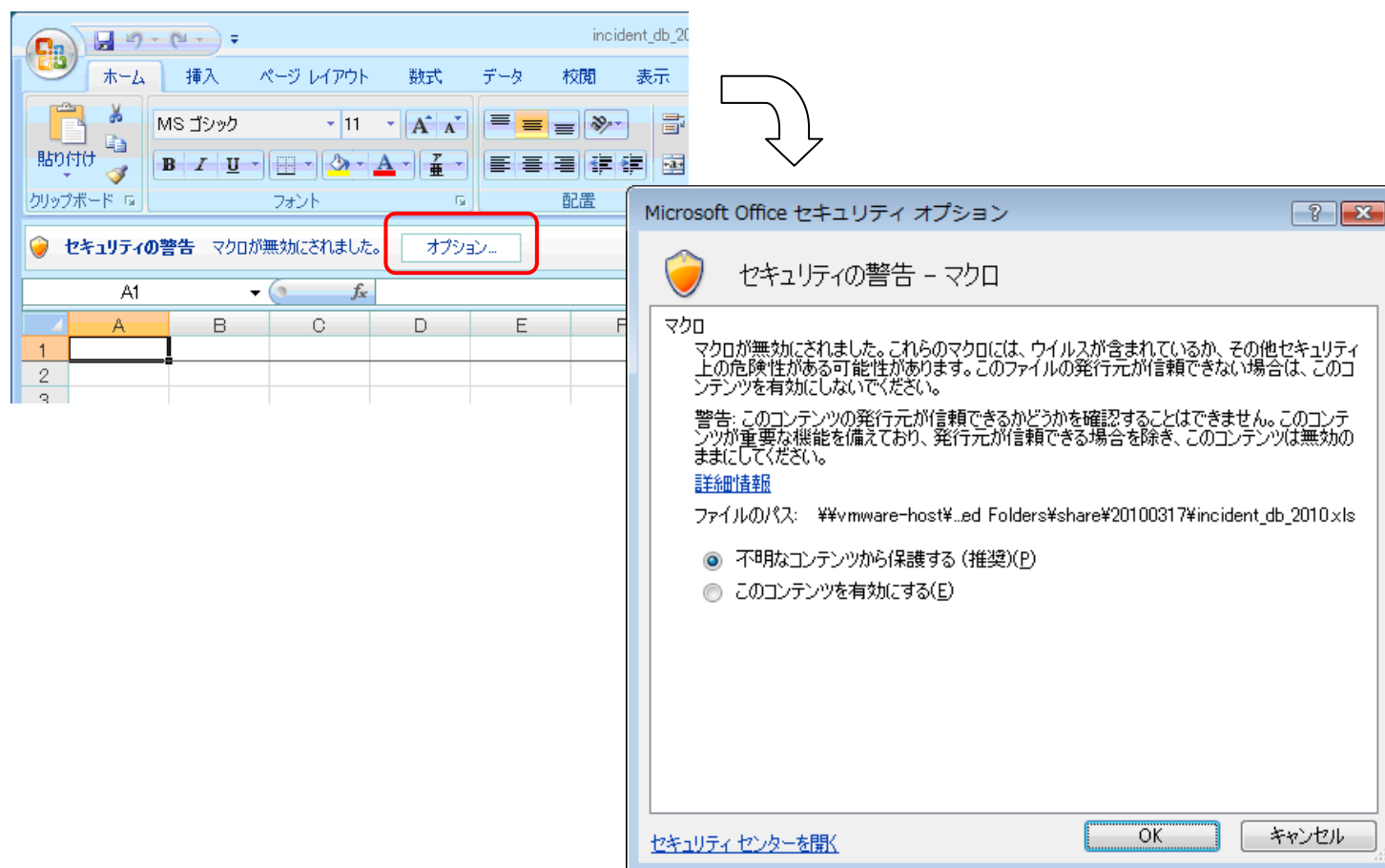
jikojirei2009 (D:)
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　お気に入り(A)　ツール(T)　ヘルプ(H)
戻る　検索　フォルダ
アドレス(D)　D:¥
CD 書き込みのタスク
これらのファイルを CD に書き込む
ファイルとフォルダのタスク
このフォルダを Web に公開する
このフォルダを共有する
その他
マイ コンピュータ
マイ ドキュメント
マイ ネットワーク
詳細
現在 CD にあるファイル
事故事例データベース検索システム取扱説明書.pdf
事故事例データベース検索...
右記のファイル一覧から「事故事例データベース検索システム.xls」をダブルクリックします。
または、ファイル一覧から「事故事例データベース検索システム.xls」を右クリックし、下記の表示されたメニューで「開く」を選択するか、ファイル一覧で「事故事例データベース検索システム.xls」を左クリックしてから、キーボードで「Enter」キーを押すことによっても起動することができます。

（エ）セキュリティ警告

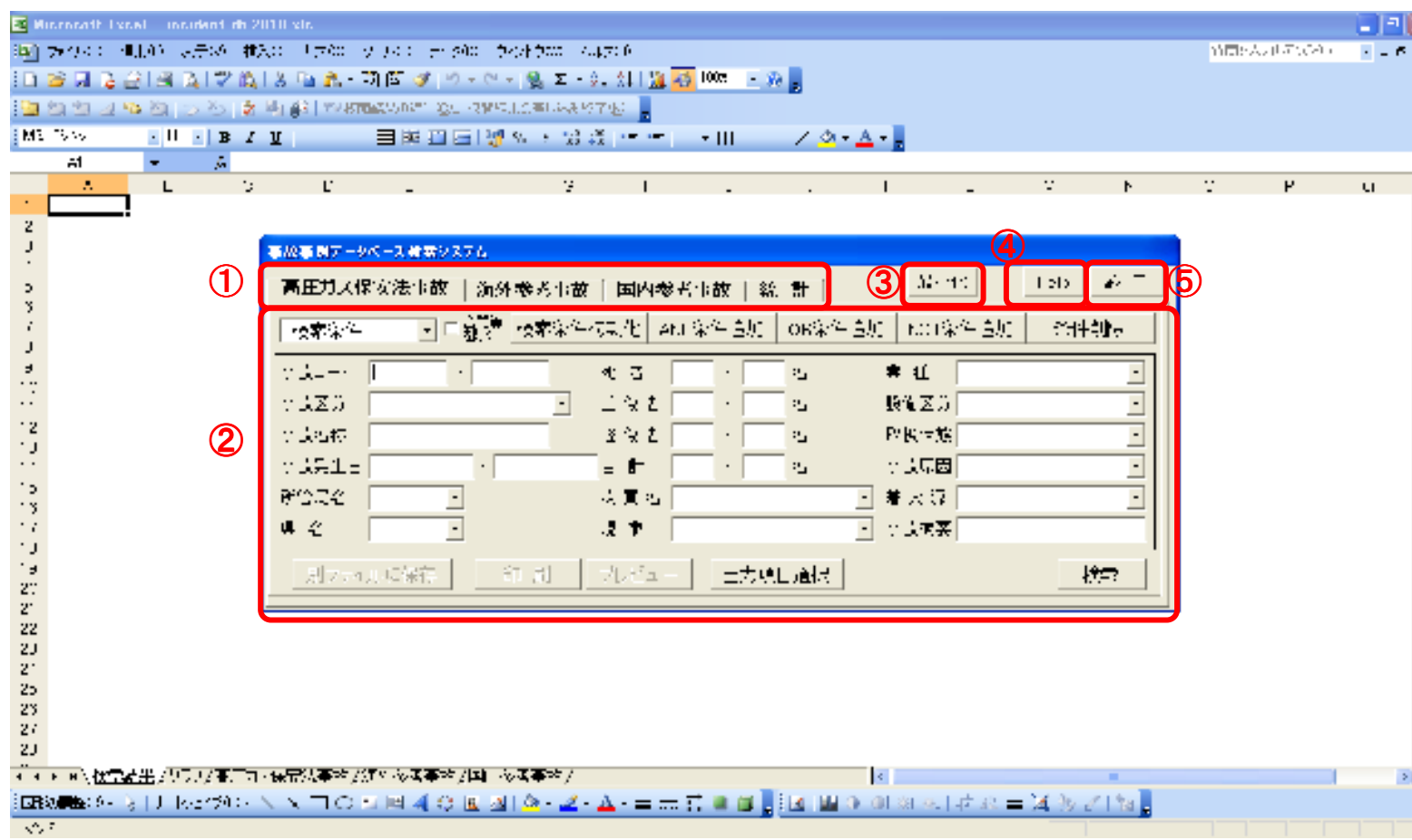
本システムは Microsoft Excel のマクロを含んでいるため、警告が表示される場合があります。

Microsoft Excel 2003 の場合

警告が表示された場合は、「マクロを有効にする(E)」をクリックしてください。

Microsoft Excel 2007 の場合

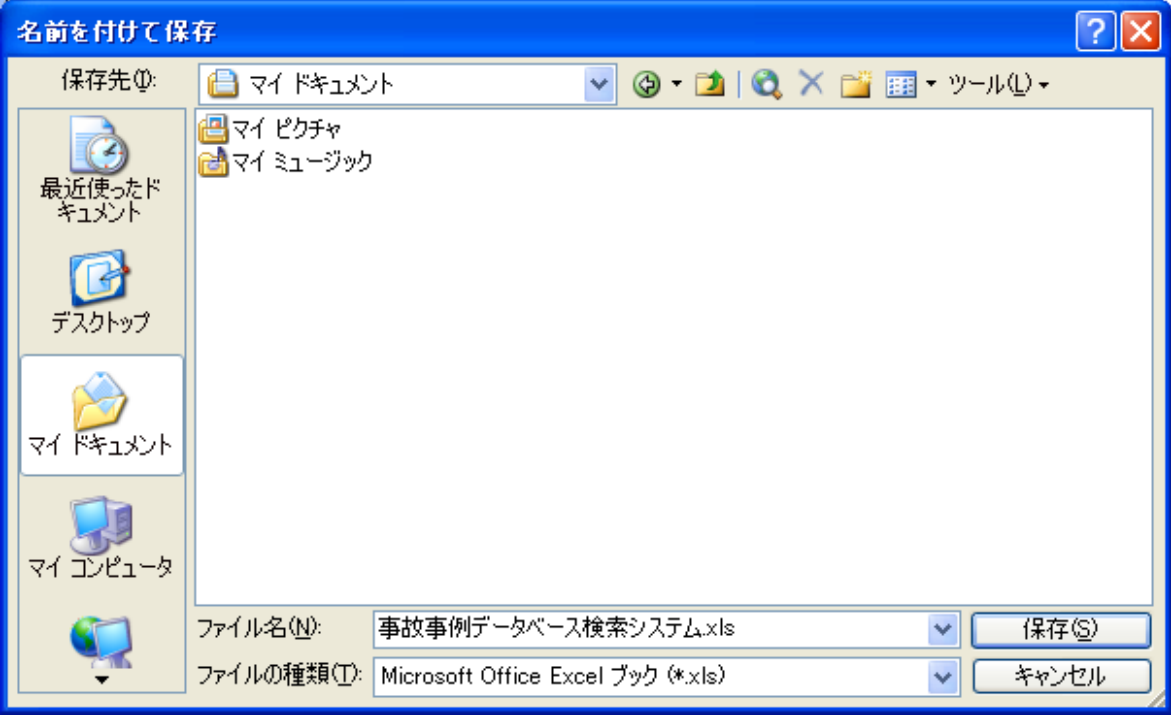
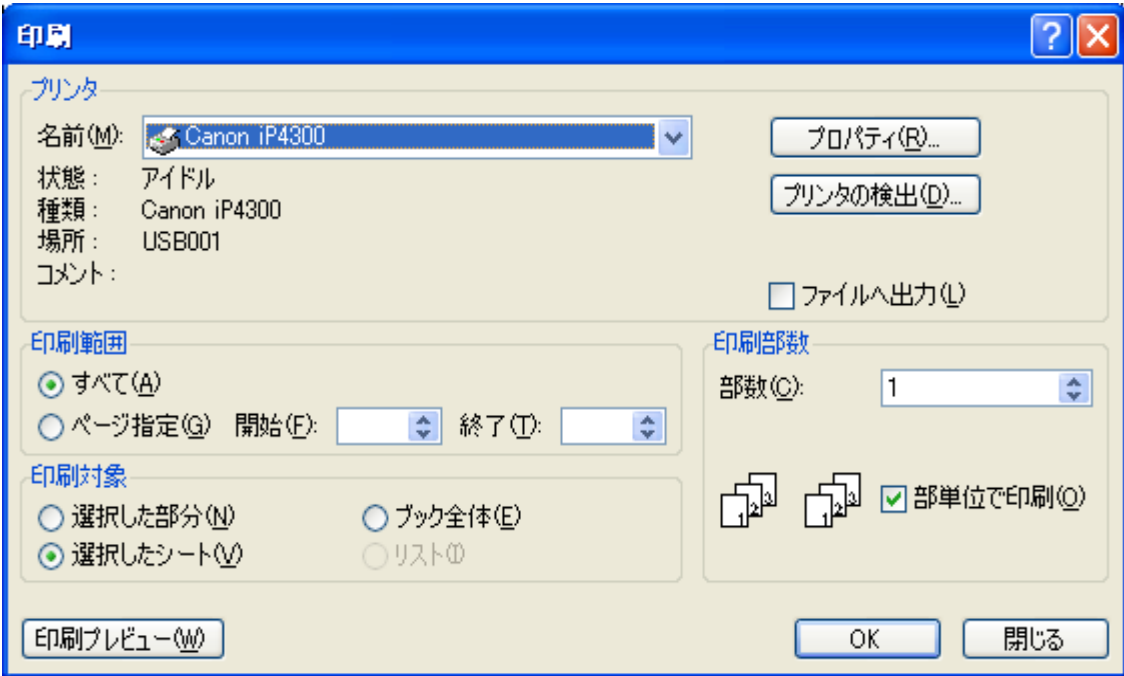
警告が表示された場合は、「オプション…」をクリックしてください。「Microsoft Office セキュリティ オプション」 ウィンドウが表示されるので、「このコンテンツを有効にする(E)」を選択して、「OK」をクリックしてください。

4. 画面全体説明

「ご利用規約」ウィンドウで「確認」の後、下記のウィンドウが表示されます。

このウィンドウが本システムの主ウィンドウです。

項目説明

No	画面項目名	説明
①	機能選択タブ	使用したい機能を選択します。 選択した機能により②の部分の表示が変わります。
②	各機能別項目	各機能用の項目が表示されます。
③	最小化ボタン	Excel のシートの内容を確認したい場合などに、「事故事例データベース検索システム」のウィンドウを小さくすることができます。
④	Help ボタン	操作説明書（本ドキュメント）を表示します。 ※ 表示には Adobe Acrobat Reader が必要です。 インストールされていない場合は、下記のホームページからダウンロードしてください。 http://www.adobe.com/jp/downloads/
⑤	終了ボタン	本システムを終了します。 別の Excel のブックが表示されている場合は「事故事例データベース検索システム」だけを閉じますが、ほかに開いているブックがない場合は Excel 自体を終了します。

5. 高圧ガス保安法事故

（ア）画面説明

本システムの初期状態、または「高圧ガス保安法事故」タブをクリックすると、下記の「高圧ガス保安法事故」検索用画面が表示されます。

No	画面項目名	説明
①	検索条件	複数の検索条件を組み合わせて検索することができます。 詳細については「9. 検索条件の組み合わせ」を参照してください。 「盗難等を除く」をチェックした場合、現象に「盗難」「紛失」が含まれるデータは対象外となります。これは検索条件の組み合わせには影響しません。
②	検索項目	項目ごとに検索条件を指定します。

（イ）項目説明

No	画面項目名	説明
①	事故コード	事故コードを範囲で指定します。1 件だけを検索する場合は、開始と終了に同じ事故コードを入力してください。 開始事故コードだけを入力した場合は開始事故コードに該当するデータ以降すべてを、終了事故コードだけを入力した場合は最初から終了事故コードに一致するデータまでを検索します。事故コードは一部を指定することも可能です。（年の部分だけ等）
②	事故区分	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
③	事故名称	事故名称を指定します。 事故名称に含まれる語句を指定することも可能です。
④	事故発生日	事故発生日を範囲で指定します。1 日だけを検索する場合は開始と終了に同じ事故発生日を入力してください。日付の形式は「yyyy/mm/dd」です。月日または日だけの省略も可能です。 開始日付で月日を省略した場合は 1 月 1 日が、日を省略した場合は 1 日が自動で設定されます。 終了日付で月日を省略した場合は 12 月 31 日が、日を省略した場合はその月の末日が設定されます。
⑤	所管局名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑥	県名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑦	物質名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 物質名または物質名の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑧	現象	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑨	業種	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 業種または業種の一部を直接入力して検索することも可能です。

No	画面項目名	説明
⑩	設備区分	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 設備区分または設備区分の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑪	死者数、重傷者数、軽傷者数、合計数	死者数、重傷者数、軽傷者数及び合計数を範囲で指定します。最小数だけを指定した場合は最小数以上を、最大数だけを指定した場合は最大数以下を検索します。
⑫	取扱状態	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑬	事故原因	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 事故原因または事故原因の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑭	着火源	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑮	事故概要	事故概要に含まれる語句を指定してください。
⑯	「出力項目選択」ボタン	このボタンをクリックすると別ウィンドウが開き検索結果に出力したい項目の選択を行うことができます。 詳細については「10.　出力項目選択」を参照して下さい。
⑰	「検索」ボタン	指定された条件で検索を行い「検索結果」シートに結果を表示します。先に表示されていた内容は消去されます。

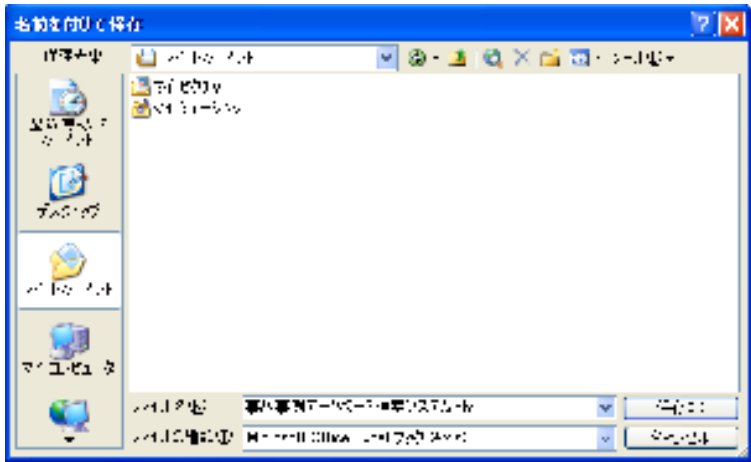
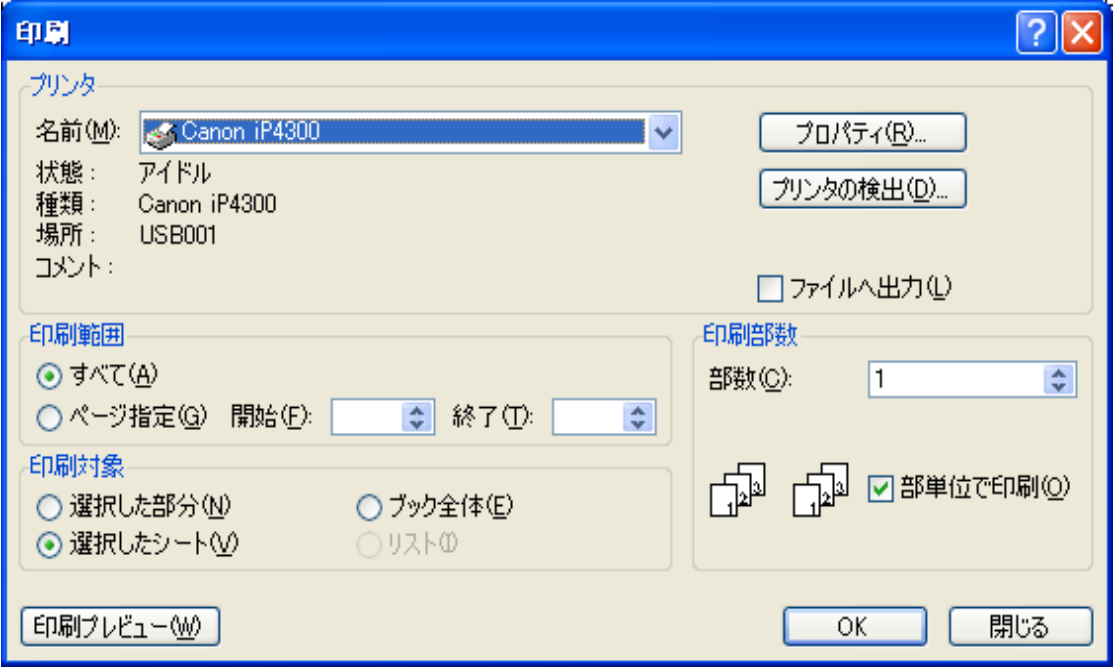
No	画面項目名	説明
⑱	「別ファイルに保存」ボタン	検索結果を別ブックに保存します。このボタンを押すと下記の画面が表示され、ファイル名を指定するとそのファイルに検索結果の内容が保存されます。

No	画面項目名	説明
⑲	「印刷」ボタン	検索結果を印刷します。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態（「12. 最小化状態について」参照）になり、印刷ウィンドウが表示されます。印刷が終わると本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。

No	画面項目名	説明
⑳	「プレビュー」ボタン	検索結果をプレビューします。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態（「12. 最小化状態について」参照）になり、プレビュー状態になります。プレビューの「閉じる」ボタンを押すと本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。

6. 海外参考事故

（ア）画面説明

「海外参考事故」タブをクリックすると、下記の「海外参考事故」検索用画面が表示されます。

No	画面項目名	説明
①	検索条件	複数の検索条件を組み合わせて検索することができます。 詳細については「9.検索条件の組み合わせ」を参照してください。
②	検索項目	項目ごとに検索条件を指定します。

（イ）項目説明

No	画面項目名	説明
①	事故コード	事故コードを範囲で指定します。1 件だけを検索する場合は、開始と終了に同じ事故コードを入力してください。 開始事故コードだけを入力した場合は開始事故コードに該当するデータ以降すべてを、終了事故コードだけを入力した場合は最初から終了事故コードに一致するデータまでを検索します。 事故コードは一部を指定することも可能です。（年の部分だけ等）
②	事故名称	事故名称を指定します。 事故名称に含まれる語句を指定することも可能です。
③	事故発生日	事故発生日を範囲で指定します。1 日だけを検索する場合は開始と終了に同じ事故発生日を入力してください。日付の形式は「yyyy/mm/dd」です。 月日または日だけの省略も可能です。 開始日付で月日を省略した場合は 1 月 1 日が、日を省略した場合は 1 日が自動で設定されます。 終了日付で月日を省略した場合は 12 月 31 日が、日を省略した場合はその月の末日が設定されます。
④	国名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑤	人的被害	「▼」をクリックすると「あり、なし、不明」が表示されますので、選択してください。 「不明」、「なし」についてはデータに「不明」、「なし」と記載されている場合、「あり」はデータに「不明」、「なし」以外の記載があった場合に対象とします。 データが空欄の場合はいずれの条件も対象外とします。
⑥	物質名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 物質名または物質名の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑦	現象	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。

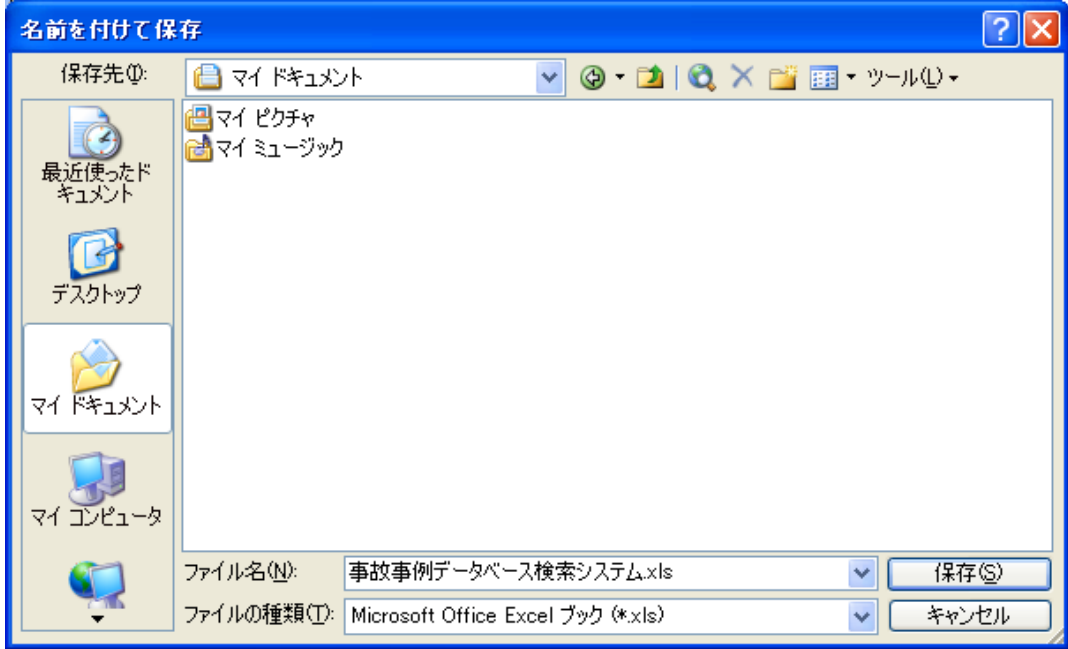
No	画面項目名	説明
⑧	業種	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 業種または業種の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑨	設備区分	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 設備区分または設備区分の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑩	取扱状態	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑪	事故概要	事故概要に含まれる語句を指定してください。
⑫	「出力項目選択」ボタン	このボタンをクリックすると別ウィンドウが開き検索結果に出力したい項目の選択を行うことができます。詳細については「10.　出力項目選択」を参照して下さい。
⑬	「検索」ボタン	指定された条件で検索を行い「検索結果」シートに結果を表示します。先に表示されていた内容は消去されます。
⑭	「別ファイルに保存」ボタン	検索結果を別ブックに保存します。このボタンを押すと下記の画面が表示され、ファイル名を指定するとそのファイルに検索結果の内容が保存されます。

No	画面項目名	説明
⑮	「印刷」ボタン	検索結果を印刷します。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態（「12. 最小化状態について」参照）になり、印刷ウィンドウが表示されます。印刷が終わると本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。

No	画面項目名	説明
⑯	「プレビュー」ボタン	検索結果をプレビューします。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態(「12. 最小化状態について」参照)になり、プレビュー状態になります。プレビューの「閉じる」ボタンを押すと本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。

事故コード	事故名称	年月日	国名	人的被害	物質名	現象	業種	設備区分	取扱状態
1989/001	ガソリン導管破損	1989/1/4	FRANCE		ガソリン	流出、破損	石油精製	導管	運転中
1989/002	原油蒸留装置火災	1989/1/9	USA		炭化水素系	火災	石油精製	蒸留塔のまわりのポンプ	運転中
1989/003	合成燃料プラント火災	1989/1/30	SOUTH AFRICA	死亡12、重傷1、軽傷8	炭化水素系	火災	石油精製	配管	運転中
1989/004	化学プラント爆発火災	1989/2/9	FRANCE	軽傷5	硝酸ナトリウムと硫酸	火災、爆発	化学	反応装置	運転中

7. 国内参考事故

（ア）画面説明

「国内参考事故」タブをクリックすると、下記の「国内参考事故」検索用画面が表示されます。

No	画面項目名	説明
①	検索条件	複数の検索条件を組み合わせて検索することができます。 詳細については「9. 検索条件の組み合わせ」を参照してください。
②	検索項目	項目ごとに検索条件を指定します。

（イ）項目説明

No	画面項目名	説明
①	事故コード	事故コードを範囲で指定します。1 件だけを検索する場合は、開始と終了に同じ事故コードを入力してください。 開始事故コードだけを入力した場合は開始事故コードに該当するデータ以降すべてを、終了事故コードだけを入力した場合は最初から終了事故コードに一致するデータまでを検索します。事故コードは一部を指定することも可能です。（年の部分だけ等）
②	事故区分	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
③	事故名称	事故名称を指定します。 事故名称に含まれる語句を指定することも可能です。
④	事故発生日	事故発生日を範囲で指定します。1 日だけを検索する場合は開始と終了に同じ事故発生日を入力してください。日付の形式は「yyyy/mm/dd」です。 月日または日だけの省略も可能です。 開始日付で月日を省略した場合は 1 月 1 日が、日を省略した場合は 1 日が自動で設定されます。 終了日付で月日を省略した場合は 12 月 31 日が、日を省略した場合はその月の末日が設定されます。
⑤	所管局名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑥	県名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑦	物質名	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 物質名または物質名の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑧	現象	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑨	業種	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 業種または業種の一部を直接入力して検索することも可能です。

No	画面項目名	説明
⑩	設備区分	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 設備区分または設備区分の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑪	死者数、重傷者数、軽傷者数、合計数	死者数、重傷者数、軽傷者数及び合計数を範囲で指定します。最小数だけを指定した場合は最小数以上を、最大数だけを指定した場合は最大数以下を検索します。
⑫	取扱状態	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑬	事故原因	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。 事故原因または事故原因の一部を直接入力して検索することも可能です。
⑭	着火源	「▼」をクリックすると一覧が表示されますので、一覧より選択してください。
⑮	事故概要	事故概要に含まれる語句を指定してください。
⑯	「出力項目選択」ボタン	このボタンをクリックすると別ウィンドウが開き検索結果に出力したい項目の選択を行うことができます。 詳細については「10.出力項目選択」を参照して下さい。
⑰	「検索」ボタン	指定された条件で検索を行い「検索結果」シートに結果を表示します。先に表示されていた内容は消去されます。

No	画面項目名	説明
⑱	「別ファイルに保存」ボタン	検索結果を別ブックに保存します。このボタンを押すと下記の画面が表示され、ファイル名を指定するとそのファイルに検索結果の内容が保存されます。

<table>
<tr><th>No</th><th>画面項目名</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>⑲</td><td>「印刷」ボタン</td><td>検索結果を印刷します。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態(「12.最小化状態について」参照)になり、印刷ウィンドウが表示されます。印刷が終わると本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。
</td></tr>
</table>

No	画面項目名	説明
⑳	「プレビュー」ボタン	検索結果をプレビューします。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態（「12.最小化状態について」参照）になり、プレビュー状態になります。プレビューの「閉じる」ボタンを押すと本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。

8. 統計

（ア）集計表について

高圧ガス保安法事故データベースについて、事故発生年、対象項目ごとに集計表を作成し、グラフ表示することができます。

発生年は最大 15 年間、対象項目についてはそれぞれ表示選択を行うことができます。

また検索対象、集計値を選択することもできます。

出力される表は下記ものです。またグラフの種類は円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフに対応しています。

グラフについては「（エ）グラフレイアウトについて」を参照してください。

※ 表の例

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	事故区分(件数)		2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	計
2	製造事業所							
3		1:冷凍	15	20	39	50	82	206
4		2:コンビナート	15	37	31	43	29	155
5		3:LP	10	8	25	21	16	80
6		4:一般	26	35	55	61	91	268
7		計	66	100	150	175	218	709
8	5:移動		21	30	31	30	21	133
9	6:消費		400	408	535	583	562	2,488
10	7:上記以外のその他		17	16	19	18	9	79
11	年内に発生した全事故の合計		504	554	735	806	810	3,409

（イ）画面項目説明

「統計」タブをクリックすると、下記の「統計」検索用画面が表示されます。

No	画面項目名		説明
①	事故発生年		事故発生年の範囲を指定します。 発生年の範囲は 15 年まで指定できます。
②	検索対象		検索対象を「高圧ガス保安法事故」「検索結果シート」から選択できます。 「検索結果シート」を選択した場合、検索結果シートに表示されている内容から集計を行います。 この場合、検索結果シートには高圧ガス保安法事故の検索結果が表示されていて、表示項目はすべて選択されていなければなりません。
③	集計値		集計する値を、「件数」「死者数」「重傷者数」「軽傷者数」から選択することができます。
④	集計対象		集計対象のタブを選択します。 ⑤に検索対象に応じた表示項目が表示されます。
⑤	表示項目指定		集計対象に応じた表示項目を選択します。 合計値だけの表示はできません。
		事故区分	表示対象の事故区分をチェックします。
		現象	表示対象の現象をチェックします。チェック項目にない現象はドロップダウンリストから選択、または入力することができます。
		事故原因	表示対象の原因をチェックします。チェック項目にない原因はドロップダウンリストから選択、または入力することができます。
		事故概要	事故概要から集計するキーワードを 5 つまで入力することができます。
		所管局名	表示対象の所管局名をチェックします。

No	画面項目名	説明
	県名	県名をドロップダウンリストから選択します。
⑥	「別ファイルに保存」ボタン	検索結果を別ブックに保存します。このボタンを押すと下記の画面が表示され、ファイル名を指定するとそのファイルに検索結果の内容が保存されます。

No	画面項目名	説明
⑦	「印刷」ボタン	検索結果を印刷します。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態(「12.最小化状態について」参照)になり、印刷ウィンドウが表示されます。印刷が終わると本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。

No	画面項目名	説明
⑧	「プレビュー」ボタン	検索結果をプレビューします。このボタンを押すと本システムのウィンドウは最小化状態(「12.最小化状態について」参照)になり、プレビュー状態になります。プレビューの「閉じる」ボタンを押すと本システムのウィンドウは元の大きさに戻ります。

（ウ）集計対象

①. 事故区分

表示項目指定
☑製造事業所（冷凍）　☑製造事業所（コンビナート）　☑製造事業所（LP）
☑製造事業所（一般）　☑製造事業所計　☑移動　☑消費　☑その他
☑年内に発生した全事故の合計

表示項目	対象データ
製造事業所（冷凍）	事故区分が「製造事業所（冷凍）」のデータ
製造事業所 （コンビナート）	事故区分が「製造事業所（コンビナート）」のデータ
製造事業所（LP）	事故区分が「製造事業所（LP）」のデータ
製造事業所（一般）	事故区分が「製造事業所（一般）」のデータ
製造事業所計	事故区分が「製造事業所（冷凍）」～製造事業所（一般）の選択された項目の合計
移動	事故区分が「移動」のデータ
消費	事故区分が「消費」のデータ
その他	上記に含まれないデータ
年内に発生した全事故の合計	全項目の合計

②. 現象

表示項目	対象データ
爆発	現象に「爆発」が含まれるデータ
火災	現象に「火災」が含まれるデータ
漏洩等	現象に「漏洩」が含まれるデータ
破裂等	現象に「破裂」が含まれるデータ
ドロップダウンリスト項目	入力又は選択したキーワードが現象に含まれるデータ
その他	上記に含まれないデータ
年内に発生した全事故の合計	全項目の合計

③. 事故原因

表示項目指定

☑ 設計・構造不良 ☑ 材質不良 ☑ 製作不良 ☑ 劣化 ☑ 点検不良 ☑ 誤作動 ☑ 操作基準の不備 ☑ 情報提供の不備
☑ 作業環境の不適 ☑ 責任管理体制の不備 ☑ 誤操作 ☑ 誤判断 ☑ 認知確認ミス ☑ 交通事故 ☑ 盗難
☑ ごみ処理くず化 ☑ 自然災害 ☑ その他
☑ 年内に発生した全事故の合計

表示項目	対象データ
設計・構造不良	事故原因に「構造」が含まれるデータ
材質不良	事故原因に「材質」が含まれるデータ
製作不良	事故原因に「製作」が含まれるデータ
劣化	事故原因に「劣化」が含まれるデータ
点検不良	事故原因に「点検」が含まれるデータ
誤作動	事故原因に「誤作動」が含まれるデータ
操作基準の不備	事故原因に「操作基準」が含まれるデータ
情報提供の不備	事故原因に「情報提供」が含まれるデータ
作業環境の不適	事故原因に「作業環境」が含まれるデータ
責任管理体制の不備	事故原因に「管理体制」が含まれるデータ

表示項目	対象データ
誤操作	事故原因に「誤操作」が含まれるデータ
誤判断	事故原因に「誤判断」が含まれるデータ
認知確認ミス	事故原因に「認知」が含まれるデータ
交通事故	事故原因に「交通」が含まれるデータ
盗難	事故原因に「盗難」が含まれるデータ
ごみ処理,くず化	事故原因に「ごみ」または「くず」が含まれるデータ
ドロップダウンリスト項目	入力又は選択したキーワードが事故原因に含まれるデータ
その他	上記に含まれないデータ
年内に発生した全事故の合計	全項目の合計

④. 事故概要

表示項目	対象データ
検索キーワード	入力又は選択したキーワードが事故概要に含まれるデータ
その他	上記に含まれないデータ
年内に発生した全事故の合計	全項目の合計

⑤. 所管局名

表示項目指定

☑北海道 ☑東北 ☑関東 ☑中部 ☑近畿 ☑中国 ☑四国 ☑九州 ☑沖縄

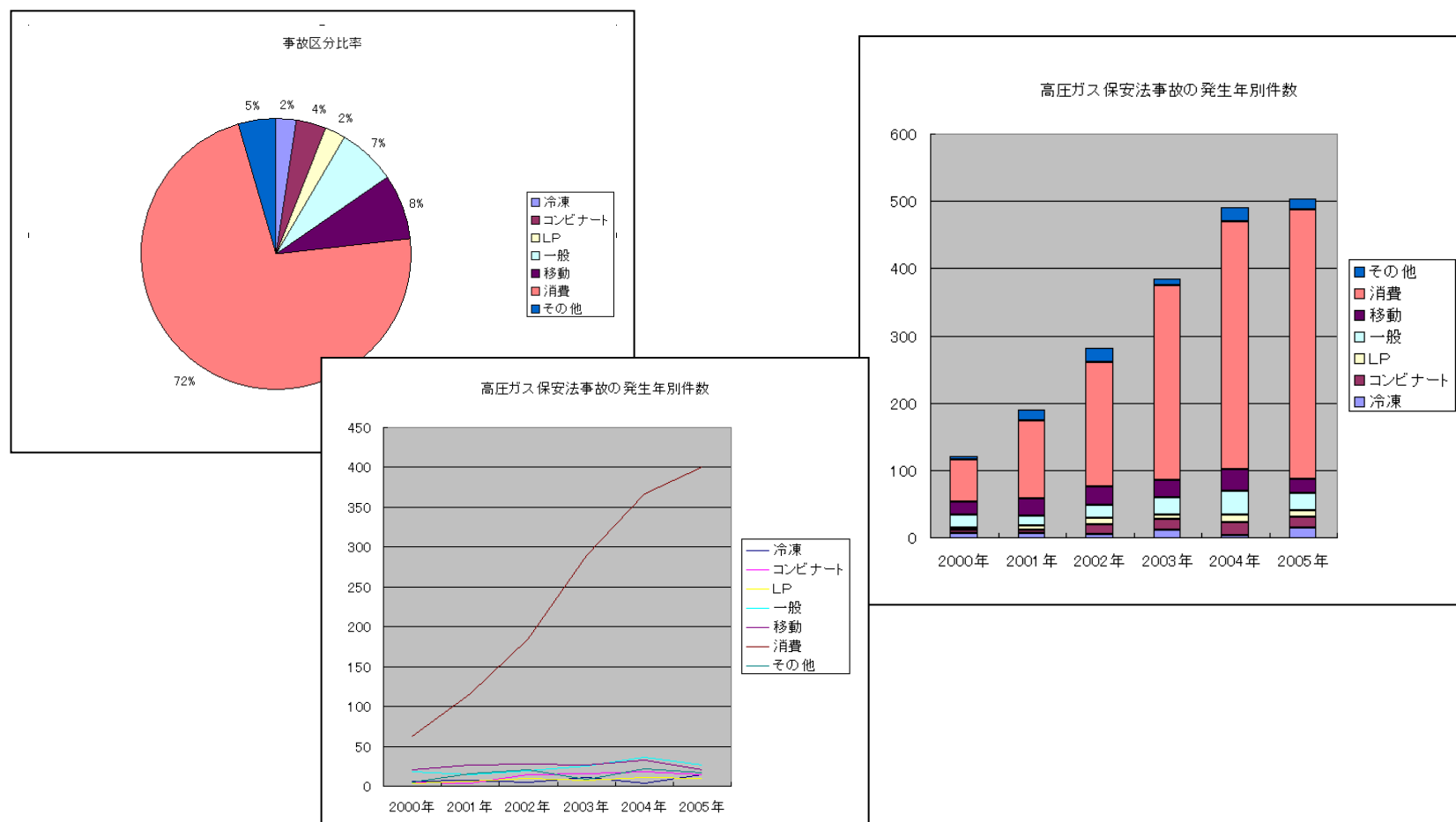
☑その他 ☑年内に発生した全事故の合計

表示項目	対象データ
北海道	都道府県名が「北海道」のデータ
東北	都道府県名が「青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県」のいずれかのデータ
関東	都道府県名が「茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県」のいずれかのデータ
中部	都道府県名が「富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県」のいずれかのデータ
近畿	都道府県名が「福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県」のいずれかのデータ
中国	都道府県名が「鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県」のいずれかのデータ
四国	都道府県名が「徳島県、香川県、愛媛県、高知県」のいずれかのデータ
九州	都道府県名が「福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県」のいずれかのデータ
沖縄	都道府県名が「沖縄県」のいずれかのデータ
その他	上記に含まれないデータ
年内に発生した全事故の合計	全項目の合計

⑥. 県名

表示項目	対象データ
ドロップダウンリスト項目	入力又は選択した県名が含まれるデータ
その他	上記に含まれないデータ
年内に発生した全事故の合計	全項目の合計

（エ）グラフレイアウトについて

表示されるグラフは下記のものです。表示されたグラフは Excel のグラフ機能でレイアウトを変更することができます。また、グラフをコピーする場合は「別ファイルに保存」ボタンで別ファイルに保存してください。Excel の「編集」メニューの「コピー」でコピーを行った場合、「検索結果」シートへの参照が残ったままになり、グラフが崩れることがあります。

9. 検索条件の組み合わせ

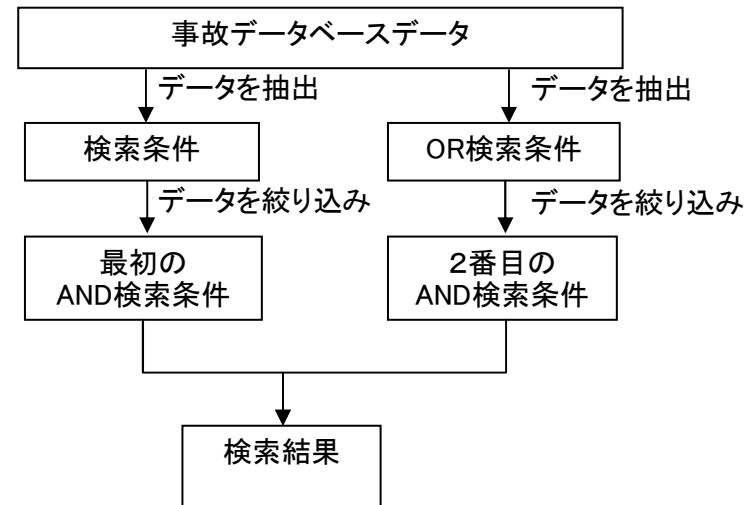
本システムでは検索条件を 6 パターン組み合わせて指定することができます（最初に表示されている「検索条件」以外に 5 つまで）。
本項では指定方法および組み合わせの考え方について説明します。

（ア）画面説明

項目説明

No	画面項目名	説明
①	検索条件	「現在設定している検索条件が表示されます。「▼」をクリックすると設定されている条件が一覧表示され、一覧を選択するとその設定内容が検索項目に表示されます。
②	検索条件初期化	すべての追加検索条件を消去し①の表示を「検索条件」に戻します。⑦の検索項目のエリアもすべて初期化されます。
③	AND 条件追加	「検索条件の最後にAND条件を追加します。ここで設定された条件でこの前に指定された条件を絞り込みます。このボタンを押すと⑦の検索項目は初期化されます。
④	OR 条件追加	「検索条件の最後に OR 条件を追加します。ここで設定された条件に一致するデータが検索結果に追加されます。このボタンを押すと⑦の検索項目は初期化されます。
⑤	NOT 条件追加	検索条件の最後に NOT 条件を追加します。ここで設定された条件に一致しない条件で前に指定された条件を絞り込みます。このボタンを押すと⑦の検索項目は初期化されます。
⑥	条件削除	現在①に表示されている条件を削除します。「検索条件」と表示されている条件は削除できません。
⑦	検索項目	①の検索条件を選択するとその条件に設定されている内容が表示されます。

（イ）検索条件の組み合わせについて

例：検索条件のドロップダウンリストボックスが下記のように設定された場合。右図のようにデータが抽出されます。

10. 出力項目選択

本システムでは検索結果の出力項目を選択することができます。「高圧ガス保安法事故」「海外参考事故」「国内参考事故」のそれぞれの検索項目にある「出力項目選択」ボタンにより下記の画面が表示され、出力項目の選択を行うことができます。

「高圧ガス保安法事故」

※共通語検索については次項「11. 共通語検索について」を参照してください。

「海外参考事故」

「国内参考事故」

11. 共通語検索について

「高圧ガス保安法事故」の検索結果に「海外参考事故」「国内参考事故」の結果を含めることができます。これは「高圧ガス保安法事故」の出力項目選択ウィンドウで「なし」以外を選択した場合に可能となります。

（ア）画面説明

No	画面項目名	説明
①	共通語検索	「なし」を選択した場合は、「高圧ガス保安法事故」だけからの検索です。「なし」以外を選択した場合は「共通語検索」になり、②の部分は選択不可になり、出力項目は固定になります。「（イ）出力項目について」参照
②	出力項目	「共通語検索」が「なし」の場合だけ選択できます。「なし」以外の場合は選択不可になります。

（イ）出力項目

共通語検索で「なし」以外を選択した場合、検索結果に表示されるのは下記の 9 項目固定になり、表示、非表示の選択をすることはできません。

事故コード
事故名称
年月日
物質名
現象
業種
設備区分
取扱状態
事故概要

また、表示順は「高圧ガス保安法事故」「海外参考事故」「国内参考事故」の順になります。（「海外参考事故」「国内参考事故」は選択された場合だけ表示されます。）

（ウ）検索条件

「共通語検索」が選択された場合、下記画面のように検索条件は「物質名」、「現象」、「業種」、「設備区分」、「取扱状態」、「事故概要」の 6 項目に制限されます。

12. 最小化状態について

「プレビュー」の際には Excel が画面の制御を行い、プレビューの「閉じる」ボタンが押されるまでは本システムの画面を操作（画面の移動など）することができなくなります。このため、「プレビュー」の際には本システムの画面を小さくし、邪魔にならない位置に移動します。これは「印刷」ボタンが押された場合も同じです。

最小化の状態からはプレビューの「閉じる」ボタンが押された場合に自動的に元の大きさと位置に戻ります。

但し、本システムのボタンではなく Excel のメニューまたはツールバーからプレビューを行った場合、自動的に最小化されますが、プレビューの「閉じる」ボタンを押しても自動では元に戻りません。この場合は最小化画面の「元に戻す」ボタンを押して元のサイズに戻してください。

これは Excel の制限の問題です。

また、「最小化」のボタンは検索結果などを確認したい場合など画面を小さくしたい場合にも、利用することができます。

※最小化の画面